

人だより

2016
January
第91号

1

特集 組合長年頭のご挨拶

謹賀新年



本年もよろしくお願い申し上げます





年頭のご挨拶

代表理事組合長

竹内 文雄

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。旧年中はJA事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の国内経済は、アベノミクス政策の「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」により、経済はゆるやかな成長と報道されています。農業情勢においては、農業者の高齢化と後継者不足、米を中心とした農産物の価格低迷等、農業の先行き不安を募らせる状況が続く中、TPP交渉は大筋合意となり、農業部門は農林水産物重要品目5品目への特別輸入枠の設定や段階的な関税の削減・撤廃、さらには野菜の関税が撤廃される等、農産物市場の大幅な開放が見えてきました。この合意により、我が国の農業・農村に大きな影響を与え、生産現場では不安の声が広がっています。政府は、農家の不安払拭と安定生産にむけて総額4000億円越の補正予算案を

まとめる等の対策をすすめていますが、JAグループは、農業・農村を将来に渡って守り安心して農業を営むことが出来る対策を強く政府に要望しています。また、昨年8月の改正農協法は、農協の事業運営原則の明確化、理事等の構成、中央会制度の廃止、公認会計士監査の義務付け等JAグループ全体の事業・組織の根幹にかかわる大幅な法改正となりました。JAグループではこれらの対応として、全国JA大会で、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標とする自己改革に取り組むことを決議しました。

当JAの27年度事業の展開は、第三次中期計画（25～27年度）の最終年として各事業を計画に沿って実施することが出来ましたことに深く感謝申し上げる次第です。特に、昨年6月末にオープンした県内最大級のファーマーズマーケット「よらんかいねえ広場」は、当初の計画を上回り、地域農業に元気と地域活性化

につながるものとなり一定の成果をもたらしています。平成28年度は、第四次中期3カ年計画のスタート年となりますが、JA改革の基本項目を重視した取り組みをすすめてまいります。特に農業所得の向上と生産の拡大においては、主要品目の米の生産販売対策の強化と園芸振興による複合経営を推進してまいります。また、よらんかいねえ広場の取り組みを一層強化し、農業振興と地域活性化の拠点施設として運営いたします。

本年は、JA白山は合併10周年を迎えますが、JAは地域農業の発展と生活を守る拠点として、また、組合員・地域住民に愛される組織としてより一層の発展に向けて役職員一同、積極的に取り組む所存であります。何卒皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、組合員皆様のご多幸をお祈りしご挨拶と致します。



謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年も変わらぬご愛顧
よろしくお願い申し上げます

代表理事組合長

竹内 文雄

代表監事

今村 文雄

副組合長理事

北村 登

常勤監事

奥谷 英喜

代表理事専務

東藤富士雄

監事

森 良次

代表理事常務

柄田 俊樹

監事

中村 弘仁

理事

辻 進

員外監事

本田 英夫

理事

山田 清一

総務部長

吉田 誠一

理事

澤田 繁

営農部長

前田 浩司

理事

山本 正隆

営農振興担当部長

吉本儀一郎

理事

藤田 和彦

経済部長

倉田 今希

理事

小田 吉一

金融経済部長

中田 俊明

理事

西村 哲史

蝶屋支店長

高橋 和則

理事

清水外志恵

つるぎ支店長

吉本 智昭

理事

山崎 昭治

大神支店長

知田 浄一

理事

山岸 良子

手取支店長

田畑 政行

理事

小倉 芳治

白峰支店長

山下 次久

理事

中西 節子

農産物直売所店長

小田 達哉

理事

谷端 正宗

他職員一同

西田 英次

理事

西田 英次

第18回 全国農業担い手サミット in みやざき

全国担い手育成総合支援協議会会長賞

(農)安産営農組合 集落営農部門で受賞

平成27年11月10日・11日に開催された第18回全国農業担い手サミットにおいて蝶屋支店管内の(農)安産営農組合が集落営農部門で表彰された。同賞は、全国の担い手の中で優良経営体を運営する営農組合に対し表彰されるもの。

今回の同大会のテーマは、「語ろう未来を受け継ごう今を！」農業の無限の可能性を信じて」で、開催地の宮崎県は「日本のひなた」と呼ばれるように(農)安産営農組合には、「白山市のひなた」として、管内農業振興をリードして頂き、今後一層の活躍を期待いたします。受賞おめでとうございました。



理事会だより

第7回定例理事会

●日時 平成27年11月26日(木) 午後1時30分

【審議事項】

第1号議案

「個人情報保護・情報セキュリティに係る各種方針・規程」の設定について(可決)

第2号議案

理事が代表を務める法人への信用供与の条件変更について(可決)

【報告事項】

- ① 平成27年10月末事業実績について
- ② 平成27年度産米の集荷実績報告について
- ③ 白峰支店の移転用地取得にかかる既存建物の取壊しについて
- ④ 鶴来農村環境改善センターのトイレ改修工事の実施について
- ⑤ よらんかいねえ広場における野立広告塔及び風除壁の設置について
- ⑥ 組合長一任取引にかかる有価証券取得結果について



丸いも出荷大忙し

丸いも部会

12月4日(金)、寒風吹き荒れる大荒れの天気の中、丸いも出荷作業の取材を行った。11月から毎週金曜日、部員たちが集まり、等級づけと出荷の箱詰め作業を行なっている。今回は、9名の部員(内3名が新人部員※中村春樹さん、山本勉さん、井上宝子さん)が、出荷作業を行った。27年度の品質は上々で12月末には出荷された全量(約6トン)が完売する。販売先は、京都の有名商店や県内外のお歳暮に利用され、よらんかいねえ広場で直売している。中村部会長は、「全盛期(出荷量35トン)から見ると、まだまだ足りない。新規部員を大募集して増産していきたい。近い将来、東京進出も計画しており、最低全盛期の半分(10〜15トン)は確保できるよう丸いもの輪を広げていきたい」と語った。28年度も2名の新規部員を確保しており、丸いも部会の発展に注目したい。今年度生産価格は、700円/kg〜650円/kgになる予定。



よらんかいねえ広場で丸いも試食販売

丸いも部会

平成27年12月12日(土)、13日(日)、よらんかいねえ広場で、丸いもの試食販売会を開催した。当日は、丸いも部会の女性部員が看板娘として、すりおろした丸いもの小皿を手渡しながら、丸いもの滋養強壮の効能や料理の仕方などをPRした。試食された方は、「おいしいね。うちでも食べるのに買っていくわ」と語った。丸いものは、当JAのブランド野菜の一つで、商品価値も高い為、現在、地元贈答用、関西方面を中心に販売していますが、供給が需要に追いつかないのが現状で、若き生産者を大募集しています。興味のある方は、丸いも部会へ一度ご連絡下さいとのこと。

問い合わせ先

JA白山営農部 丸いも部会事務局 舟渡まで
TEL (076) 273-5277



第5回女性大学

よくわかる陽子線がん治療講座

12月9日(水)、つるぎ支店会議室で第5回女性大学を開催した。今回は、よくわかる陽子線がん治療講座として「切らずに、副作用の少ないがん治療」について、福井県立病院陽子線がん治療センターの佐々木誠氏がわかりやすく説明した。陽子線がん治療は先進医療で高額費用がかかり、切らずにまた副作用が少ないため、場合によっては、通院・仕事帰りに治療できるとのこと。現在、日本人の死亡原因第1位はがん。がんは早期発見が大切なので、健康診断は必ず受けて注意することが一番目。2番目は、がんになった時のことを考えて対応する共済に加入すること。JA共済では、医療共済やがん共済に先進医療特約を付けて加入することがおすすめ。参加した受講生はがんになるのはいややけど、もしもの時に役に立つ話が聞けて良かったと語った。



男性大学

第11回料理教室開講

平成27年12月17日(木)、農産物加工センター調理室で講師に下樋先生を迎え開催された。今回のメニューは、クリスマスも近いということで、子供が喜ぶ料理で、ハンバーグ、クリームシチュー、ポテトサラダの作り方を習った。受講生は、今まで習った技術を使いながらてきぱきと料理を仕上げた。

冬の時期ということもあり、「おでんの大根は源助大根がいい」とか、ハンバーグの語源等について豆知識を語りながら、完成した料理を楽しく試食した。今回をもって、第1期生の男性料理教室(全11回)は無事終了しました。第2期生の男性大学の開催については、より多くの方が参加できるカリキュラムを検討中です。こんな講座をやってほしいとかの要望がありましたら、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

本店総務部 担当/平山まで
TEL 272-3333



第6回グリーンレディーススカレッジ開催

しめ縄作り教室

平成27年12月14日(月)、本店で毎年恒例の正月用しめ縄作り教室が鶴来支部「じやがいもクラブ」の協力のもと開催された。今回は《お正月を楽しく迎えましょう!》と題して、「しめ縄飾り」と「二文字」を作った。毎年恒例の行事となっており参加した部員同士、教え教わりながらてきぱきとわら縄を編みしめ縄飾りや一文字を綺麗に仕上げられ、部員らは自分で作ったしめ縄飾りなどを手に「これで良い年を迎えられるわ」とほほんといた。



蝶屋支部 レディースメイト

寄せ植え教室を開催

平成27年12月16日(水)、蝶屋支店において正月用の寄せ植え教室を行った。この教室は毎回大好評で、参加者も年々増加している。参加者は、講師の方の説明を聞いて、風水的に良い黄色の花を選ぶなど、新しい年に期待を込めながら作品づくりにはげんだ。



JA石川県女性組織協議会 主催三重県視察研修に参加

JA白山女性部長 岡田 篤子

平成27年11月18日(土)19日の日程でJA石川県女性組織協議会の三重県視察研修に参加しました。研修1日目、JAいがほくぶ女性組織との対談と加工場見学。主に味噌作り・いなりずし・あんもち作りを見学しました。次に、6次産業取組視察として「伊賀の里モクモク手づくりファーム」では、伊賀の養豚農家を中心に、ハム、ウィンナーを作って通信販売し、宿泊コテージや手作り体験教室も開催され、短時間では回りきれないほど充実した内容になっていることに驚かされました。

研修2日目、伊勢神宮に参拝し、JA豊年講、本年の豊年祈願、お神楽を奉納しました。2日間と短い期間でしたが、目を見張る体験ばかりで整理がつきませんが、今後の自分達の組織の活動にプラスにしていきたいと思っています。





手取支店

女性部と支店職員が特別養護老人ホームを清掃

平成27年12月12日(土)、手取支店管内の女性部と支店職員が特別養護老人ホーム大門園で清掃活動を行った。この活動は、入居者にきれいな施設で年末年始を快適に過ごしてもらおうと一昨年より一支部一協同活動の一環として女性部と合同で取り組んでいる。作業に先立ち、浦久美子支部長より、女性部活動を通して集めたタオルなどが介護施設へ贈呈された。参加した職員らは、てきぱきと雑巾や使い捨ての歯ブラシなどを使い、普段手の届かないサッシの溝や窓ガラス等の清掃作業を行なった。作業終了後、職員の福田さんより、施設の概要、介護制度の現状、認知症予防について説明があった。参加者の中には家族が介護を受けていたり、自分の将来に不安を抱えている方も多数おり、介護の苦労と健康の大切さを考える良い機会となった。



みんなで考えよう わたしたちのJA

一連の農協改革議論のなか、第27回JA全国大会決議が行われました。JAが「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、一般公募で決めた新たなキャッチフレーズの活用などの広報活動を通じ、組合員のほか約1000万人いる地域住民に「JAグループがめざす方向や取り組んでいる内容を正しく知ってもらう取り組みが重要」です。

(監修 龍谷大学農学部教授・石田正昭)

JAあけて国民理解を深めよう



キーワード解説 耕そう、大地と地域の未来。

新しいキャッチフレーズは、農業者の所得増大に全力投球する「耕そう」と、持続可能な農業や地域振興を目指す「未来」を表現しています。



耕そう、大地と地域の未来。

集団インフルエンザ予防接種の実施

〈全職員を対象に〉

12月8日(火)、本店にて、全職員を対象にインフルエンザの予防接種を実施した。当JAでは、昨年度インフルエンザが流行し、業務に支障が出た部署があったため、今年度総務課が企画し実施する運びとなった。インフルエンザは、罹患すると2〜3日間高熱が出ると同時に全身倦怠感の症状が続く。治療を受ければ1週間程度で回復するが、特に高齢者や小さい子供が罹患した場合、重症化すると死に至るケースもある。また、飛沫感染で広がるため、予防(うがい・手洗い・マスク着用など)が大事。今回、予防接種を受けた職員は「これで、ひとまず安心して仕事に励みます。また、予防対策もしっかり行い、組合員やお客さんには笑顔で対応したい」と語った。



メンタルヘルス研修会を開催

〈ストレスのない職場作りへ〉

12月12日(土)、JA白山本店多目的ホールで、《ストレスのない職場をつくろう!》と題しメンタルヘルス研修会を開催した。当JAでメンタルヘルス研修会は、コンプライアンスプログラムの一つとして計画されており、今年度は講師に公立松任石川中央病院・精神科認定看護師西本多加子氏を迎え、どんな時にストレスを感じ、ストレスが蓄積することでの弊害、ストレスを軽減する予防対処法を学んだ。特に職場において重要なのは、あいさつや会話でのコミュニケーションが大事とのこと。その一つとして、隣の席同士の自己紹介やインタビューでのコミュニケーション体験があった。職場での「飲みみけーション」も良い方法との提案もあった。日頃ストレスを感じている職員たちは、「ストレス溜めないようにお互い気を付けようね」と語った。



9,026
億円

数字で知る食 世界と日本の食

平成25年度の
農産物直売所販売額

農家が農産物を直接販売する農産物直売所の販売額は9,026億円(平成25年度、農林水産省「6次産業化総合調査」)です。23年度に野菜の価格低下や東日本大震災の影響などで一時的に減少しましたが、ここ2,3年で1,000億円ほど伸びています。また、そこで働く従事者数も増加傾向にあり、地域の雇用創出にも貢献しています。

JA全中の調査では、JAの直売所・JAファーマーズマーケットは全国に約1,700店舗あります。農畜産物販売のほか、レストランや市民農園などを併設する店舗も増えています。農業体験や料理教室、収穫祭などのイベントも開催し、交流の場としての役割も担っています。また、出荷量が少なくても販売できるため、小規模農家や高齢農家の所得確保や生きがいづくりにも役立っています。

(監修=東京大学大学院農学生命科学研究科教授・中嶋康博)



農産物直売所の販売金額と従事者数の推移

出典:農林水産省「6次産業化総合調査」



JAファーマーズマーケットは
農家と消費者の交流の場
になっているんだね



なるほどJA!

あたらしいJAづくりをすすめています!



©よい食P



農家のみなさんを笑顔にします!

- 農家のみなさんの「もっともうけたい!」にこたえます。
- 新しい技術、アイデアを農家のみなさんに紹介します。
- 農業をはじめる後継者、若者を大切に育てます。
- お年寄りが農業で元気に活躍できる場づくりをすすめます。
- 地元のおいしい農畜産物や加工品を、世界にアピールします。

地域のみなさんを元気にします!

- JAのお店を、地域のみなさんが「気軽に集まれる場」にします。
- 健康に長生きできる「安心」を提供します。
- 人口の少ないまちでもくらしに欠かせないサービスをつづけます。
- JAファーマーズマーケットなどで「新鮮」をお届けします。
- 地域のみなさんをつなぎ、「にぎわい」のあるまちを創ります。



JAの取り組みはこちら ▶ <http://www.ja-kizuna.jp/>

自己改革の詳細はこちら ▶ <http://www.zenchu-ja.or.jp/>



大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ



除雪作業の注意

毎年、冬になると雪下ろし作業に伴う転落事故等が発生しています。屋根の雪下ろしは、安全対策を怠ると、大きな事故につながります。

●温かい日の午後は特に注意しましょう

屋根が滑りやすく危険ですので、できれば曇り空で雪が固い午前中に行いましょう

●安全な服装で

ヘルメットの着用、着ぶくれしない動きやすい服装にしましょう

●転落防止に命綱を使いましょう

ザイルや麻ロープなどを使いましょう

命綱は屋根の上で止まる長さで正しく結びましょう

●はしごはしっかり固定しましょう

はしごの足元はしっかり固定し、頭部を安定させましょう

自分の足場をしっかり確保し、雪は、20cmほど残して落とす。

(おろし過ぎは、滑りやすくなってしまいます)

●2人以上で作業しましょう

やむを得ず1人で作業する場合は、家族や近所に声を掛け、時々様子を見てもらう

●無理な作業はやめましょう

雪下ろしは重労働です。作業する前には準備運動、作業中には十分な休憩をとり水分を補給しましょう

体調が悪い時は無理をせずやめましょう



昨年度は大雪に見舞われました。今年度もまだまだ大雪が予想されます。雪下ろしの際はケガや屋根の破損などに十分ご注意ください。JAの建物更生共済にご加入の皆様のお宅で、降雪による屋根の被害や屋根雪降ろし時にお怪我をされた場合は最寄の店舗またはLA(ライフアドバイザー)までお気軽にご相談ください。

みんなて考えよう わたしたちのJA

第27回JA全国大会議案では、JAグループ全体の理念や事業活動、今後3年間の進むべき道等を決定し、内外に表明します。今大会は、創造的自己改革への挑戦をスローガンに「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に全力を尽くすことを目標としています。JAグループはこの3つの基本目標の実現に向け、組織一丸となって取り組んでいきます。(監修 龍谷大学農学部教授・石田正昭)

第27回JA全国大会の意義



キーワード解説 JA全国大会

3年に1度開催し、全国のJA・連合会・中央会の代表者が参加します。組合の連帯意識を高揚して全国の共通の意志を決め、内外に表明することを目的としています。大会議案の策定にあたっては、JAグループ内外から意見を集めます。

どんな「がん」でもJAの**がん共済**が
手厚く保障。「がん」の克服を目指す、
あなたの「生きる」を応援します。

がん共済

新しくなったがん共済 5つのポイント

がんの治療費は高いと
聞いて不安です。

POINT
1

がん診断共済金とがん治療共済金（1年に1回、何度でも保障）で、
がん診断時から再発・長期治療までしっかり保障します。

がん共済って、どんながんを
保障してくれるの？

POINT
2

**初期にみられる上皮内がんから脳腫瘍まで、
幅広いがんを一生涯保障します。**

最新の治療を安心して
受けたいわ。

POINT
3

**がんで先進医療を受けたときの技術料を、
通算1,000万円まで保障します。**

※先進医療保障ありを選択した場合で、がんによるものに限りです。

入院したときの
保障が心配…。

POINT
4

**がん入院は1日目から日数無制限なので安心！
がん手術・放射線治療も手厚く保障します。**

※日帰り入院は、入院基本料の支払いの有無により判断されます。

高齢になると共済掛金が
高くなるのは困る。

POINT
5

共済掛金はご加入時からずっと変わらないので、安心です。

※公的医療保険制度の改正があり、その改正が支払事由または共済掛金の計算の基礎に影響を及ぼす場合で、必要なときは農林水産大臣の承認を受けて、共済掛金を変更することがあります。

※お支払いには一定の条件があります。

がん共済の保障内容 ご契約例 がん入院共済金日額：5,000円《基本型 先進医療保障あり》

 がんの保障が あります はじめの90日間	がんと診断されたとき (がん診断共済金) (※1)	50万円 (がん入院日額×100)	共済期間を通じて1回
	がんで入院のとき (がん入院共済金)	1日あたり 5,000円	日帰り入院からOK (※2)
	がんで手術のとき (※3) (がん手術共済金) (※1)	入院中の手術の場合 1回あたり 10万円 (がん入院日額×20)	公的医療保険制度と連動
	がんで放射線治療のとき (※3) (がん放射線治療共済金) (※1)	外来手術の場合 1回あたり 2.5万円 (がん入院日額×5)	何回でも保障 (一部を除く)
	がんで放射線治療のとき (※3) (がん放射線治療共済金) (※1)	1回につき (※4) 5万円 (がん入院日額×10)	公的医療保険制度と連動
	がん再発時や長期治療のとき (※5) (がん治療共済金) (※1)	25万円 (がん入院日額×50)	何回でも保障 (1年に1回)
	がんで先進医療を受けたとき (※6) (がん先進医療共済金) (※6)	1回あたり 先進医療にかかる技術料に応じて定める額	通算1,000万円まで保障

一生保障

この共済の対象となる「がん」は、悪性新生物(上皮内新生物を含む)および脳腫瘍です。詳細は「ご契約のしおり・約款」にてご確認ください。

松任税務署の 確定申告 会場について

設置期間 2月8日(月)～3月15日(火)

※土曜日、日曜日、祝日を除く

受付時間 午前9時から午後4時

※会場の混み具合によって、時間前に受付を終了する場合があります

場 所 松任税務署 (白山市博労2丁目22番地)



確定申告会場を利用される方へ

税務署では、e-Tax(国税電子申告、納税システム)の利用を推進しています。

税務署の確定申告会場での、パソコン(e-Tax)への入力、原則として、納税者の皆さんにお願いしています。

不明な点は税務署の職員がワンポイントアドバイスをしますので、ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先 松任税務署 TEL (076) 276-2345

無料税務相談会 要予約

身近にあって、でもなかなか分からない税金のしくみ。それぞれのケースに合わせて、分かりやすくお答えします。

- 開催日時 平成28年 1月25日(月)
2月25日(木)
午前9時～12時
- 開催場所 JA白山 本店



当JA顧問税理士
福田 正寛

フロに相談して
良かったわ～!!



お問い合わせ・お申込先

ご希望の方は、ご予約をお願い致します。

TEL 272-3333
FAX 273-0690
(担当/総務課 平山)

私たちのJA

(平成27年11月末実績参考)
組合員数 6,634名(団体含)

● 貯金残高	67,121百万円	● 購買品供給高	1,336,931千円
● 貸出金残高	19,405百万円	● 販売品取扱高	766,874千円
● 長期共済保有高	2,284億円	■ 職員数(パート除く)	143名

